

海洋調査技術学会

第36回研究成果発表会 プログラム

- 期 間 2024年11月19日（火）～11月20日（水）
- 場 所 東京海洋大学越中島キャンパス 85周年記念会館
〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6
- 参加費 会場参加者（事前登録必要なし）無料
ライブストリーミング参加者（事前登録制）無料
 - ・11月20日（2日目）のみ、ライブストリーミング（視聴のみ）実施
 - ・登録される学会員の方は、併せて総会の委任状の提出をお願いします。
 - ・事前登録・総会委任状11月15日まで海洋調査技術学会(jsmst@mynavi.jp)講演要旨集 1,000円（会員） 1,500円（非会員）
- 主 催 海洋調査技術学会
- 後 援 海上保安庁
- 協 賛 以下調整中
海中海底工学フォーラム ZERO、(NPO 法人) 海洋音響学会、(一社) 海洋調査協会、(一社) 可視化情報学会、(一社) 資源・素材学会、石油技術協会、地球電磁気・地球惑星圏学会、(公社) 土木学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、(NPO 法人) 日本海洋工学会、(NPO 法人) 日本火山学会、(公社) 日本航海学会、(公社) 日本地震学会、(一社) 日本写真測量学会、(公社) 日本水産学会、日本水産工学会、(公社) 日本船舶海洋工学会、(一社) 日本リモートセンシング学会、(公社) 物理探査学会 (50音順)

| 第1日 11月19日(火) | | |
|---|----------------|-------------|
| 開会挨拶 | 会長 道田 豊 | 13:00~13:05 |
| 研究成果発表(1) | 座長 巻 俊宏(企画委員) | 13:05~14:05 |
| 1 GNSS-A 観測におけるウェーブライダーの転覆挙動の再現と転覆頻度に対する波浪の向きとヘディングの関係について ○村井 菜々海(東京海洋大)・木戸 元之(東北大災害科学国際研)・飯沼 卓史(JAMSTEC)・中東 和夫(東京海洋大) | | |
| 2 本州・四国・九州南岸の水位の変動特性 ○中村 璃子・寄高 博行(高知大院) | | |
| 3 歴史的イベントと潮汐予報技術(補遺)ーノルマンディー上陸作戦と潮汐ー ○小田巻 実(元海洋情報部) | | |
| 休 憩 | | 14:05~14:20 |
| 研究成果発表(2) | 座長 小田巻 実(企画委員) | 14:20~15:20 |
| 4 埋没した海底ケーブル探査のための FDTD 法を用いた音場シミュレーションの検討 ○小野寺 祥吾・水野 勝紀(東大院新領域創成科学研)・望月 将志・植平 賢司(防災科研) | | |
| 5 北部琉球海溝における海底地震観測で記録されたナガスクジラ(Balaenoptera physalus)の鳴音の自動解析 ○森田 龍太郎・中東 和夫・永井 智明(東京海洋大)・仲谷 幸浩(鹿児島大)・山下 裕亮(京都大)・篠原 雅尚(東大地震研) | | |
| 6 AIによる岩石ドレッジ映像の自動解析 ○芦田 将成(東大大海研) | | |
| ポスター紹介 | 司会 事務局 | 15:20~15:40 |
| 機器展示案内 | 司会 事務局 | 15:40~15:50 |
| ポスターコアタイム | | 15:50~16:30 |
| 若手優秀発表賞 審査結果および授与式 | | 16:30~16:35 |
| 通 常 総 会 | | 16:35~17:35 |
| 懇 親 会 | | 17:50~19:50 |
| 会場：マリンカフェ（東京海洋大学 越中島食堂） 参加費：(5,000円：事前徴収)(6,000円：当日徴収) | | |

懇親会（事前登録制 5,000円、当日登録 6,000円）：越中島マリンカフェ（会員および非会員共）

令和6年11月8日(金) 必着 送付先：第36回懇親会申込書(HP上 word ファイル)

金融機関名：ゆうちょ銀行、口座番号 00190-1-399115、加入者名：海洋調査技術学会

第2日 11月20日(水)

特別セッション「令和6年能登半島地震」(1) 座長 佐藤 幹夫(企画委員) 9:30~10:30

1 富山湾における海底地すべりの痕跡

○南 宏樹(海洋情報部)・川村 紀子(海上保安大)・立石 良・海野 奏・佐野 晋一(富山大)・
村木 誠一・三箇 真弘・藤島 陽平(富山県農林水産総合技術センター水産研究所)

2 能登地震津波による被害とその教訓

○有川 太郎¹・栗原 朋也^{1,2}・白井 知輝¹・榎本 容太¹・石渡雄大¹・徳田 達彦^{1,2}・今井 健
太郎²・野 徹雄²・楠本 聡²・山口 飛鳥³・朴 進午³

1. 中央大学, 2. JAMSTEC, 3. 東京大学

休憩

10:30~10:40

特別セッション「令和6年能登半島地震」(2) 座長 海宝 由佳(企画委員) 10:40~12:10

3 衛星画像による港湾・漁港の被災状況把握

○福島 庸介・金井 憲一((株)パスコ)

4 沿岸の隆起痕跡の分布からみた能登半島地震の履歴

○穴倉 正展(産総研)・越後 智雄((株)環境地質)・行谷 佑一(産総研)

5 2024年能登半島地震震源域における緊急海底地震観測

○篠原 雅尚¹・日野 亮太²・高橋 努³・尾鼻 浩一郎³・小平 秀一³・東 龍介²・山田 知朗¹・
悪原 岳¹・山下 裕亮⁴・蔵下 英司¹・村井 芳夫⁵・一瀬 建日¹・中東 和夫⁶・馬場 久紀⁷・
太田 雄策²・伊藤 喜宏⁴・八木 原寛⁸・仲谷 幸浩⁸・藤江 剛³・佐藤 利典⁹・塩原 肇¹・
望月 公廣¹・酒井 慎一¹・白鳳丸 KH-24-JE01 および KH-24-JE02C 乗船研究者

1. 東京大学, 2. 東北大学, 3. JAMSTEC, 4. 京都大学, 5. 北海道大学, 6. 東京海洋大学, 7. 東海大
学, 8. 鹿児島大学, 9. 千葉大学

昼食

12:10~13:30

特別講演「令和6年能登半島地震」 座長 道田 豊(会長) 13:30~15:15

趣旨説明(座長)

1 能登半島北東部の群発地震と令和6年能登半島地震

○平松 良浩(金沢大理工研究域)

2 能登半島周辺の地質形成史と海底活断層評価

○岡村 行信・井上 卓彦・佐藤 智之・大上 隆史・有元 純(産総研)

休憩

15:15~15:30

特別セッション「令和6年能登半島地震」(3) 座長 篠原 雅尚(企画委員) 15:30~16:50

6 令和6年能登半島地震による隆起と地下構造：地震前後の反射断面から

○佐藤 智之・岡村 行信・井上 卓彦・大上 隆史・有元 純(産総研)

7 能登半島沖における海域断層等の調査

○藤江 剛・野 徹雄・高橋 努・中村 恭之・尾鼻 浩一郎・三浦 誠一(JAMSTEC)

総合討論

閉会挨拶 副会長 下島 公紀(副会長) 16:50~16:55

※ 注意 発表画面の撮影、ライブストリーミングの録画、画像コピー等は禁止します

ポスター発表（会場：85周年記念会館多目的スペース）

11月19日（火）13:00～17:30、11月20日（水）9:30～16:00

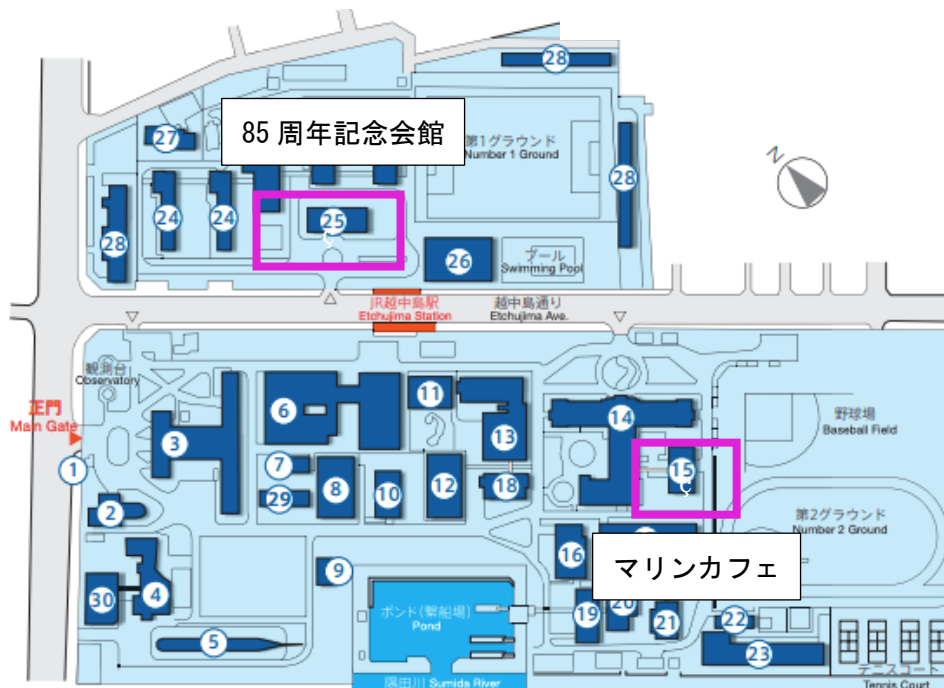
ポスター説明コアタイム：11月19日（火）15:50～16:30

- 1 Simulation Analysis of GNSS-A Sound Speed Field Estimation Effect of Survey Lines and Seafloor Array Configurations
○張 銘(東大院新領域創成科学研)・横田 裕輔(東大生研)
- 2 マルチビームデータ処理ソフトウェア MarineDiscovery に搭載したマルチ周波数・Extra Detection の処理手法
○菊池 斎太・横井 康孝・梶 琢・岩淵 洋((株)海洋先端技術研究所)
- 3 能登半島周辺海域での電磁気観測
○笠谷 貴史(JAMSTEC)・後藤 忠徳(兵庫県立大)・平松 良浩(金沢大)・吉村 令慧(京大防災研)・大田 優介・小倉 訓(JAMSTEC)
- 4 海底写真を用いた3次元化における可視化方法について
○長野 和則・阿部 真巳・高島 創太郎・木川 栄一(いであ(株))

海洋調査・測定機器展示（会場：85周年記念会館多目的スペース）

11月19日（火）13:00～17:30、11月20日（水）9:30～16:00

- ・JFEアドバンテック（株）
- ・（株）鶴見精機



東京海洋大学 越中島キャンパス